



施策 生活の安全

目指す
状態

犯罪や交通事故、健康危機を未然に防止し、
安全・安心なまちをつくります。



1 施策の現状と課題

- 本市では、市民安全パトロール隊による巡回や町会等への街頭防犯カメラの設置費用の補助等を行っています。一方、市内の刑法犯認知件数は年間2,000件を超過しており、依然として地域における危機意識は高まっています。
- 少子高齢化や成年年齢の引き下げ、デジタル化の進展など、消費者を取り巻く環境の変化により消費生活に関する問題も多様化・深刻化しており、本市の消費生活センターには年間4,000件弱の相談が寄せられています。

施策の方向性 犯罪のないまちづくりを推進する

刑法犯認知件数をはじめ、柏駅周辺の客引きや特殊詐欺被害等を減少させるため、防犯情報の啓発活動、柏警察署や各種団体等と連携した防犯活動を行います。
消費者トラブルの未然・拡大防止を図るため、市民が消費生活に関する正しい知識と的確な判断力を身に付けられるよう、幼児期から高齢期までライフステージに応じた体系的・継続的な消費者教育を推進します。

2 施策の現状と課題

- 本市では、交通安全計画に基づく安全対策を実施していますが、依然として県内市町村で交通事故発生件数はワースト上位に位置していることから、引き続き効果的な交通安全対策を進めることが必要です。
- 高齢者が関係する交通事故の多発、幅広い世代における自転車乗車中の交通事故、自動車の妨害運転など悪質・危険な運転が問題となっていることから、市民の交通安全意識を高めることが重要です。

施策の方向性 交通事故のないまちづくりを推進する

高齢者と子どもをはじめ、歩行時や自転車・自動車乗車時に交通事故を回避する行動を取れるよう、対象者の年代に合わせた交通安全教育や普及啓発活動を推進します。また、交通安全ボランティアなど地域が一体となって交通安全対策に取り組みます。

3 施策の現状と課題

- 生命や健康を脅かす健康危機事案がたびたび生じている現状において、保健所を有する本市の果たすべき役割は重要となっています。そのため、事案が発生した際は、迅速かつ適切に対策を講じていく必要があります。
- 犬や猫などの愛玩動物（ペット）は、家族の一員として重要な存在と認識される一方で、不適正な飼養による生活環境の悪化が、社会問題になっています。

施策の方向性 公衆衛生に資する取組を推進する

市民の疾病を予防するために、感染症の発生動向などを注視し、適切な情報提供を行います。特に、感染症危機発生時に備え、平常時から保健所の体制整備と人材育成等を計画的に推進します。
愛玩動物（ペット）の適正な飼養や殺処分ゼロに関する施策を推進しつつ、人も動物も健康で心豊かに暮らせる共生社会の実現に向け取り組みます。

●主な関連部門計画 ●第11次柏市交通安全計画 ●柏市(保健所)健康危機対処計画—感染症編—

●柏市感染症予防計画 ●柏市業務継続計画(感染症編) ●柏市食品衛生監視指導計画